

# 看護師による多施設共同無作為化比較試験を実行するための

経口抗がん薬の服薬自己管理支援

プログラムの有効性 (SMAP グループ) の試み

key points

日時

2018年2月4日(日)

14:00-16:00

場所

幕張メッセ 国際会議場 303

<http://jscn32.umin.jp/index.html>

プログラム

## 1. 本研究の概要について

研究代表者 小松浩子 (慶應義塾大学)  
国立がん研究センター中央病院  
神奈川県立がんセンター  
国立がん研究センター東病院  
昭和大学病院

## 2. 各施設の取り組みや工夫について

## 3. 看護師による多施設共同無作為化比較試験を実行するための key points

## 4. 参加者との意見交換

看護師による多施設共同無作為化比較試験を通して、直面した障壁や困難、遂行するために培った方法や工夫および学びを共有し、看護研究の課題、展望について参加者の皆様と意見交換、検討したいと思います。会場にて皆様のお越しをお待ちしています。

問い合わせ先

研究代表者 小松浩子 (慶應義塾大学看護医療学部)

連絡先: 矢ヶ崎香 (慶應義塾大学看護医療学部)

E-mail: [yagasaki@sfc.keio.ac.jp](mailto:yagasaki@sfc.keio.ac.jp)